

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

本財団は令和4年度も京都府水産総合振興センターの1機関として、京都府と連携しながら、海洋生物資源の維持・増大と海洋環境の保全に努力するとともに、漁業、漁村の振興、発展に寄与することを目的に活動しました。

令和4年度の業務執行状況は、魚類ではマダイ種苗を717千尾生産、配付するとともに、貝類では、令和2年産クロアワビ種苗を266千個、平成30年産～令和2年産サザエ種苗を131千個配付しました。サザエ種苗については、令和元年及び令和2年産種苗の生産不調により、生産、配付目標を達成することができませんでしたが、マダイ、クロアワビについては目標を達成することができました。また、大型アワビについては、新たな販路拡大として、ふるさと納税の返礼品への活用を検討した結果、従前の漁業者等への配付と合わせて、1,000個以上という配付目標を達成し、これらの種苗配付による本年度の受取種苗生産負担金額は、昨年度を約300万円上回る1,924万円となりました。

さらに、京都府の委託事業として実施したトリガイ種苗の中間育成事業については、昨年同様に海中の植物プランクトン量が少なかったこと、生残率が良く密度が高くなりすぎたことなどの例年と異なる状況がありましたが、配付目標の540千個を達成しました。これについては、京都府と相談しながら、マニュアルを改訂するなど手法を改善していきたいと考えています。

栽培漁業センターは昭和56年の開所以来41年が経過し、施設等の老朽化が著しく進行しています。3号、4号海水濾過器は設置後それぞれ36年、32年経過し、腐食による本体穿孔のため使用不能となる事態が懸念されます。また、アワビ種苗生産の防疫で不可欠な紫外線海水殺菌装置は設置後24年経過し、老朽化による殺菌能力の低下が懸念されます。このように、安定的な種苗生産を阻害するハード面の課題は年々大きくなっていますが、今後も京都府と適宜、協議を継続して修繕などにより施設改善が的確に実施されるよう努めてまいります。

また、ソフト面では、これまでに定年退職した職員3名の種苗生産技術を次世代に着実に継承していくことが喫緊の課題となっており、本年度に新規職員を1名採用し、人材育成事業積立金を活用し、ベテラン職員からの技術指導を実施しました。

一方、本団の経理については、超低金利下での果実収入の減少、栽培漁業センター施設の老朽化に伴う修繕費の増加等、非常に厳しい状況にあります。一部資産の国債運用など、本年度以降も収入増加に引き続き努力していきたいと考えています。

今後も厳しい環境が予想されますが、種苗生産目標を達成できるよう創意工夫と努力を継続し、一層の経営改善を図るため、さらなる運営経費の節減や、効果的な資産運用を図り、経営の安定化に努めてまいります。

1. 主な庶務事項

(1) 評議員会・理事会

年 月 日	事 項	
令 4. 4. 6	理事会を開催(書面表決) (議事事項) 1. 評議員会の決議の省略について 2. 理事の候補者について	(承認決定) (承認決定)
4. 26	評議員会を開催(書面表決) (議事事項) 1. 理事2名の補欠選任について	(可決承認)
5. 26	理事会を開催 (議事事項) 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和3年度業務報告及び 決算報告について 2. 評議員会附議事項について	於 舞鶴市 (承認決定) (承認決定)
6. 27	定時評議員会を開催 (議事事項) 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和3年度業務報告及び 決算報告について 2. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和4年度事業計画及び 予算について 3. 任期満了に伴う理事及び監事の選任について 4. 評議員の選任について 5. 定款の変更について	於 舞鶴市 (可決承認) (可決了承) (可決承認) (可決承認) (可決承認)
6. 27	理事会を開催 (議事事項) 1. 理事長及び役付理事等の選定の件	於 舞鶴市 (承認決定)
9. 9	理事会を開催(書面表決) 1. 評議員会の決議の省略について 2. 評議員、理事及び監事の候補者について	(承認決定) (承認決定)
9. 16	評議員会を開催(書面表決) (議事事項) 1. 評議員1名、理事1名及び監事1名の補欠選任について	(可決承認)
11. 17	理事会を開催 (議事事項) 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和4年度上半期の業務報告 について	於 舞鶴市 (承認決定)
令 5. 2. 15	理事会を開催 (議事事項) 1. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和4年度業務報告について 2. 公益財団法人京都府水産振興事業団令和5年度事業計画及び 予算について 3. 資産の運用について	於 舞鶴市 (承認決定) (承認決定) (承認決定)

(2) 諸会議への出席関係

年 月 日	事 項	
令 4. 4. 1	京都府漁協組合員資格審査委員会に出席	於 宮津市
5	「海の民学舎」8期生入舎式に出席	〃
25	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	〃
6. 6	京都府水産業成長産業化審査会(第1回)に出席	於 京都市
16	海の民学舎運営協議会関係機関連絡会議に出席	於 宮津市
22	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	〃
7. 1	第48回日本海定置漁業振興大会に出席	於 京都市
7	「海の民学舎」運営協議会定例委員会に出席	於 舞鶴市
8. 22	ふるさと海づくり大会実行委員会に出席(書面)	於 舞鶴市
31	日本海栽培漁業センター所長連絡会議に出席(書面)	於 石川県
31	日本海種苗生産研究会に出席(書面)	〃
9. 14	京都府水産業成長産業化審査会(第2回)に出席	於 京都市
27	京都府資源管理協議会定例会に出席	於 宮津市
10. 7	京都府漁協組合員資格審査委員会に出席	〃
25	京都府資源管理協議会定例会に出席	〃
11. 24	京都府資源管理協議会定例会に出席	〃
12. 6	海の民学舎運営協議会関係機関連絡会議に出席	〃
8	京都府水産業成長産業化審査会(第3回：オンライン開催)に出席	〃
23	京都府資源管理協議会定例会に出席	〃
令 5. 1. 23	京都府資源管理協議会定例会に出席	〃
3. 10	ブランド認証審査会 水産幹事に出席	於 舞鶴市
13	海の民学舎修了式(第7期生)に出席	於 宮津市
16	京都府水産業成長産業化審査会(総会：オンライン開催)に出席	〃
23	ブランド認証審査会に出席	於 京都市
23	京都府種苗配付協議会を開催、出席	於 宮津市
24	京都府資源管理協議会総会、定例会に出席	〃

(3) 契約関係

年 月 日	契 約 名	相 手 方	契 約 内 容	契 約 期 限
令4. 3. 22	土地賃貸借契約	国立研究開発法人水産研究・教育機構	国立研究開発法人水産研究・教育機構宮津庁舎用土地の賃貸 (4,060,977円)	令5. 3. 31

(4) 認可・許可・承認・届出及び補助金関係

年 月 日	事 項	摘 要
令4. 3. 29	令和4年度栽培漁業振興事業費補助金交付申請 (37,647,000円)	京都府知事
4. 1	令和4年度栽培漁業振興事業費補助金交付決定 (37,647,000円)	〃
6. 13	辞任に伴う理事 (2名) の変更届	〃
30	令和3年度事業報告等提出	〃
9. 6	定款変更届	〃
6	辞任及び任期満了に伴う評議員 (1名)、理事 (11名)、監事 (2名) の変更届	〃
令5. 3. 1	令和5年度事業計画及び予算の提出	〃

(5) 人事労務関係

年 月 日	事 項
令4. 4. 1	小倉正規、中嶋清志、永瀆雅和を再雇用
1	永野太陽を新規採用
令5. 3. 31	河岸 賢 退職

(6) 登記関係

年 月 日	事 項	摘 要
令4. 5. 20	辞任に伴う理事 (2名) の変更登記	京都地方法務局
8. 12	辞任及び任期満了に伴う評議員 (1名)、理事 (11名)、監事 (2名) の変更登記	

(7) 検査・監査関係

年 月 日	事 項
令4. 4. 26	令和3年度業務監査 (監事監査)
10. 14	令和4年度上期業務監査 (監事監査)

2. 事業関係事項

(1) 重要海洋生物資源の種苗生産・放流及び種苗供給等に関する事業

(ア) マダいの生産と配付

種苗生産と中間育成

令和4年5月18日、29日に合計440万粒を採卵した。

7月7日、13日に各々(TL26.5mm、353千尾)、(TL22.6mm、407千尾)を沖出して中間育成を実施した。

配付実績

月 日	サイズ(mm)	配付尾数(尾)	放流場所	配付先機関名	備 考
8月3,4日	55.8	703,300	マダいの里	事業団	拠点放流
8月9日	50	13,000	地先	株式会社 KANSO テクノス	放流
8月26日	50	500	地先	京都府海洋センター	放流
合 計		716,800			

(イ) アワビの生産と配付

種苗生産と中間育成

令和2年度産種苗の在庫数(令和5年3月末時点。以下同様)は、平均殻長39.1mmで26千個。

令和3年度産種苗の在庫数は、平均殻長27.5mmで262千個。また、在庫数確保のため令和4年6月に他県から入手した種苗の在庫数は、平均殻長28.4mmで53千個。

令和4年度産種苗の在庫数は、平均殻長3.9mmで82千個。

配付実績

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
4月20日	31	1,880	地先	大浦支所(小橋)	2年産
4月20日	31	970	地先	大浦支所(小橋)	2年産※
4月20日	31	3,770	地先	大浦支所(三浜)	2年産
4月20日	31	480	地先	大浦支所(三浜)	2年産※
4月20日	31	5,960	地先	宮津市水産振興財団(田井)	2年産
4月20日	31	480	地先	宮津市水産振興財団(田井)	2年産※
4月21日	31	4,830	地先	宮津市水産振興財団(養老)	2年産
4月21日	31	2,450	地先	宮津市水産振興財団(養老)	2年産※
4月21日	31	9,670	地先	養老支所	2年産
4月21日	31	3,850	地先	養老支所	2年産※
4月21日	31	2,760	地先	府水視組合連合会(養老)	2年産
4月22日	31	2,260	地先	宮津市水産振興財団(江尻)	2年産
4月22日	31	630	地先	宮津市水産振興財団(江尻)	2年産※
4月22日	31	630	地先	宮津支所(江尻)	2年産※

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
4月22日	31	8,750	地先	網野支所	2年産
4月22日	31	5,020	地先	網野支所	2年産※
4月25日	31	4,830	地先	湊支所	2年産
4月25日	31	6,970	地先	湊支所	2年産※
5月19日	32	2,230	地先	大浦支所(成生)	2年産
5月19日	32	330	地先	大浦支所(成生)	2年産※
5月19日	32	1,780	地先	大浦支所(野原)	2年産
5月19日	32	1,060	地先	大浦支所(野原)	2年産※
5月19日	32	5,620	地先	伊根支所(伊根)	2年産
5月19日	32	2,110	地先	伊根支所(伊根)	2年産※
5月19日	32	1,400	地先	伊根支所(新井)	2年産
5月19日	32	890	地先	伊根支所(新井)	2年産※
5月20日	32	30,000	地先	宮津支所(小田宿野)	2年産
5月20日	32	1,450	地先	宮津市水産振興財団(小田)	2年産※
5月20日	32	2,110	地先	伊根支所(泊)	2年産※
5月20日	32	930	地先	伊根支所(泊水視組合)	2年産
5月20日	32	9,590	地先	丹後支所	2年産
5月20日	32	2,420	地先	丹後支所	2年産※
5月20日	32	3,480	地先	府水視組合連合会(丹後)	2年産
5月23日	32	5,350	地先	大浦支所(田井)	2年産
5月23日	32	2,670	地先	府水視組合連合会(大浦)	2年産
5月24日	32	10,040	地先	舞鶴支所	2年産
5月24日	32	5,000	地先	舞鶴支所	2年産※
5月25日	32	5,780	地先	宮津市水産振興財団(島陰)	2年産
5月25日	32	450	地先	宮津市水産振興財団(島陰)	2年産※
5月26日	32	6,080	地先	浦島支所(本庄浜)	2年産
5月26日	32	1,060	地先	浦島支所(本庄浜)	2年産※
5月27日	32	9,330	地先	浦島支所(蒲入)	2年産
5月27日	32	1,500	地先	浦島支所(蒲入)	2年産※
5月31日	30	62,800	地先	ふくい水産振興センター	2年産
7月 5日	32	22,500	地先	ふくい水産振興センター	2年産
7月 5日	32	300	研究	水産技術研究所廿日市拠点	2年産
12月21日	32	1,500	地先	ふくい水産振興センター	2年産
合 計		265,950			

※ サザエ種苗の代替として配付(令和1、2年度のサザエ種苗生産不調により、配付するサザエ種苗の一部が不足したので、サザエ種苗に替えてアワビ種苗を配付した)。

(ウ) サザエの生産と配付

種苗生産と中間育成

令和2年度産種苗の在庫数（令和5年3月末時点。以下同様）は、平均殻高 24.6mm で 22 千個。また、生産不調のため、令和3年1月に他県から配布を受けた種苗の在庫数は、平均殻高 21.9mm で 48 千個。

令和3年度産種苗の在庫数は、平均殻高 16.4mm で 325 千個。また、生産不調のため、令和3年3月12日に他県から配布を受けた、令和3年度産種苗の在庫数は、平均殻高 11.9mm で 25 千個。

令和4年度産種苗の在庫数は、平均殻高 7.6mm で 741 千個。

配付実績

月 日	サイズ(mm)	配付個数(個)	放流場所	配付先機関名	備 考
4月20日	24	2,500	地先	大浦支所(小橋)	30、1年産
4月20日	24	1,200	地先	大浦支所(三浜)	30、1年産
4月20日	24	1,200	地先	宮津市水産振興財団(田井)	30、1年産
4月21日	24	6,500	地先	宮津市水産振興財団(養老)	30、1年産
4月21日	24	10,200	地先	養老支所	30、1年産
4月22日	24	3,400	地先	宮津市水産振興財団(江尻)	30、1年産
4月22日	24	3,400	地先	宮津支所(江尻)	30、1年産
4月22日	24	13,300	地先	網野支所	30、1年産
4月25日	24	18,600	地先	湊支所	30、1年産
5月19日	25	900	地先	大浦支所(成生)	1、2年産
5月19日	25	3,100	地先	大浦支所(野原)	1、2年産
5月19日	25	6,200	地先	伊根支所(伊根)	1、2年産
5月19日	25	2,400	地先	伊根支所(新井)	1、2年産
5月20日	25	8,000	地先	宮津市水産振興財団(小田)	1、2年産
5月20日	25	6,200	地先	伊根支所(泊)	1、2年産
5月20日	25	6,900	地先	丹後支所	1、2年産
5月24日	25	27,900	地先	舞鶴支所	1、2年産
5月25日	25	1,200	地先	宮津市水産振興財団(島陰)	1、2年産
5月26日	25	3,100	地先	浦島支所(本庄浜)	1、2年産
5月27日	25	4,300	地先	浦島支所(蒲入)	1、2年産
7月5日	20	300	研究	水産技術研究所廿日市拠点	
合 計		130,800			

(エ) 種苗の斡旋

斡旋実績

月 日	サイズ(mm)	斡旋尾数(尾)	放流場所	斡旋先機関名	備 考
6月16日	54.0	5,000	中間育成	京丹後市(府漁協湊支所)	ヒラメ (福井県)

(2) 大型クロアワビの種苗生産、養殖技術に関する研究開発事業

研究開発調査

本年度は、①成長のよい種苗を用いた生産コストの削減、②ふるさと納税返礼品としての活用等を調査し、養殖業として漁業者展開の可能性を検討した。

大型クロアワビの在庫数と配付

在庫数（令和5年3月末現在）

50mm 以下：	0 個
50mm	： 930 個
60mm	： 2,220 個
70mm	： 740 個
80mm 以上：	5,490 個
合計	： 9,380 個

配付実績

月	サイズ(mm)	配付個数(個)	配付先機関名	備 考
4月分	75～100≦	62	民宿組合等	
5月分	75～100≦	172	民宿組合等	
6月分	90～100≦	50	民宿組合等	
7月分	80～100≦	179	民宿組合等	
8月分	75～100≦	640	民宿組合等	※1、※2を含む
9月分	75～100≦	120	民宿組合等	※3、※4を含む
10月分	80～100≦	20	漁協等	※5 出荷 10 個、返礼品 10 個
11月分	80	225	漁業者等	漁業者 200 個、返礼品 25 個
12月分	80～100≦	225	漁協等	※6 出荷 120 個、返礼品 105 個
1月分	80～100≦	165	漁協等	※6 出荷 40 個、返礼品 125 個
2月分	80	20	個人	返礼品
3月分	80	10	個人	返礼品
合 計		1,908		

※1 漁協試験出荷 230 個(100≦) ※2 ふるさと納税返礼品 5 個(8cm) ※3 試験出荷 10 個(100≦)

※4 返礼品 10 個(8cm) ※5 出荷サイズ(100≦)、返礼品サイズ(8cm)以降同じ ※6 出荷サイズ(8～10cm)

(3) トリガイ中間育成委託事業

京都府の委託事業としてトリガイ種苗の中間育成に取組み、種苗を漁業者に配布した。

○中間育成・種苗配付

海洋センターが生産した種苗を本年 5 月 26 日に沖出しして中間育成を開始した。

中間育成によって種苗がほぼ 10mm サイズに成長したのを確認した後、7 月 6 日から 7 月 22 日にかけて漁業者に種苗を配付した。

昨年同様に海水中の植物プランクトン量が少なかったこと、生残率が良く密度が高くなりすぎたことなどの例年と異なる状況があったが、当初の配付日程に従い、目標値である 54 万個以上の種苗配付することができた。

配付実績

配付日	配付個数(個)	配付地区	備 考
7 月 6 日	111,000	舞鶴	
7 月 8 日	110,000	舞鶴	
7 月 12 日	107,000	江尻、久美浜	
7 月 15 日	107,000	舞鶴	
7 月 20 日	88,000	舞鶴	
7 月 22 日	19,000	舞鶴	
合 計	542,000		

(4) 土地の賃貸に関する事業

本団が所有する土地 (19,711.27 m²) は、国立研究開発法人水産研究・教育機構と締結した賃貸契約に基づき、重要海洋生物の種苗生産技術の開発・研究を実施している宮津庁舎の用地として利用されている。

(付 表)

役員・評議員・職員一覧

役員・評議員

(令和5年3月31日現在)

区 分		現 在 数	備 考
役 員	理 事	理 事 長	1 人
		副 理 事 長	2
		専 務 理 事	1
		理 事	7
		計	11
	監 事	2	
	合 計	13	
評 議 員		9	
総 合 計		22	

職 員

(令和5年3月31日現在)

所 属 部 門	現 在 数	備 考
企 画 総 務 部	2	部 長 1 (非常勤) 臨時職員 1
栽培漁業センター	13	所 長 1 副 所 長 1 (業務課長兼務) 技 師 2 技術専門員 2 (再雇用) 技術指導員 1 (再雇用) 臨時職員 5 非常勤嘱託 1
合 計	15	